

# 「婦人科疾患の診療に有用な生体内分子に関する研究」に関する情報公開文書

公益財団法人東京都予防医学協会保健会館クリニックでは、婦人科腫瘍の発生機構の解明、および新たな診断法および治療法の確立を目指した研究を取り入れ、多くの患者さんにご協力いただいております。本研究は婦人科腫瘍の疾患（発生臓器として子宮・卵巣・卵管・腹膜・腔・外陰など）における生体内分子の相互作用について調べ、その結果が産婦人科診療において有用か否かを検討するものです。

本研究は、その必要性や実施概要などについて本会の倫理委員会が厳重な審査を行い、理事長の承認を得て実施しています。得られた分析情報は個人が特定できないかたちで論文・学会発表等に用います。

## 1. 研究課題名：婦人科疾患の診療に有用な生体内分子に関する研究

## 2. 研究の対象

年齢は 20 歳から 90 歳で当施設の婦人科で診療を受けている患者さん、もしくは人間ドックの受検者さん

## 3. 研究目的・方法・研究期間

**研究目的：**婦人科腫瘍の疾患（発生臓器として子宮・卵巣・卵管・腹膜・腔・外陰など）における生体内分子の相互作用について調べ、その結果が産婦人科診療において有用か否かを検討しています。

**研究方法：**研究材料は腔分泌物などの体液を利用します。これらの検体採取に伴う身体への危険性はありません。試料の中に含まれる生体内分子（糖、脂質、代謝産物、DNA、RNA、マイクロRNA、たんぱく、細菌、ウイルスなど）の相互作用と臨床情報との関連について調べます。

**研究期間：**2025 年 11 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

腔分泌物を研究検体として用い、診療録情報として細胞診、組織診、HPV 検査情報、年齢と既往歴等を用います。

## 5. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関として株式会社プリメディカおよび藤田医科大学産婦人科に検体を送付します。個人が特定される臨床情報は送りません。個人情報を守られます。

## 6. 研究組織

当施設の研究責任者：公益財団法人東京都予防医学協会 検査研究センター長  
藤井多久磨

## 7. 解析除外の申出・お問い合わせ先

研究協力の任意性と撤回の自由：研究に協力するかどうかは全く自由で撤回も可能です。この研究への協力の同意は提供者であるあなたの自由意志で決めてください。決して強制するものではありません。また同意しなくても、あなたの不利益になるようなことはありません。一旦同意した場合でも、あなたが不利益を受けることなく、いつでも同意を取り消すことができ、その場合は採取した試料は破棄され、診療記録などもそれ以降は本研究目的に用いられることはありません。ただし、同意を取り消した時すでに研究結果が論文などで公表されていた場合のように、試料を調べた結果などを破棄することができない場合もあります。

**個人情報（プライバシー）の厳重保護について：**個人情報（プライバシー）は当施設において厳重に保管します。解析の結果は原則としてお知らせしません。

また、研究対象者等及びその関係者からこの研究内容に関しての相談等の希望があれば、研究担当者を通じて、個人情報保護や本研究の独創性確保に支障がない範囲で研究計画書などの資料を開示することが可能です。

### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究実施機関： 公益財団法人 東京都予防医学協会検査研究センター

研究責任者： 藤井多久磨

お問い合わせ先：TEL: 03-3269-1171 FAX: 03-3269-7028

e-mail: t.fujii@yobouigaku-tokyo.jp

第1版 2025年8月12日